

100%EVのグローバル展開に向けた開発・実用化

(実施期間：2010～)

技術テーマ区分番号：⑬

主な実施場所：日産自動車グローバル本社（横浜市西区）

取組活動の内容／イメージ図

事業目的・概要

- 地球規模で進行する温暖化への対応、経済成長に伴うエネルギーセキュリティ問題など、自動車産業が「次の100年」に向けた究極の取り組みとして、100%EVを軸にゼロエミッション車（＝走行時クルマからの排出物ゼロ）の開発を継続。
- 2010年12月に世界初の量販型100%EVを発売開始、その後2014年に小型商用車100%EVも発表し、以来累計約52万台の100%EVを販売し、*120万トン超のCO2排出削減に貢献。
* 日産グローバルデータセンター集計値から算出
- EVの基幹部品である電池についても、1992年からリチウムイオン電池の車両適用に関する研究開発に着手し、2007年にはNEC、NECトーキンと合併で車載用高性能リチウムイオン電池の設計製造会社として**AESC (Automotive Energy Supply Corporation)を設立、EVの更なる性能向上とコスト競争力強化に取り組む。
** 2019年4月にEnvision社に事業継承
- 今後、SUV（多目的スポーツ車）や軽自動車等、幅広いカテゴリーに100%EVラインアップを拡充し、お客様の選択肢をより広げていく。また単なるEV拡販のみならず、車載電池の2次利用やエネルギーインフラとの連携など、EVを中心とした包括的な取り組みによりゼロエミッション社会の実現に向け貢献していく。



図1：EVを中心とした包括的な取り組み